

	注意	活動と動き	ツール使用の理解	表情と感情	相互交流/作用とコミュニケーション	ステージ
8 熟練者	<p>しっかりと周りに注意を向けることができ、注意を持続できる。</p> <p>リラックスして、積極的で、緊張していない。</p>	<p>2つ以上の活動で構成される作業</p> <p>流動的で、滑らかで、正確な動きとアプローチ。より努力が少なく自動的に動作できる。ツール使用が、いろいろな場面で他の活動を行う手段になる。遭遇する課題を直観的に整理し理解する。経験を積んで成熟したツール使用理解を基に、どのようにすべきなのかが分かっている。</p>	<p>整理統合された完全なツールの使用</p> <p>作業の他の部分に注意が向く。ツール使用は、多かれ少なかれ無意識的である。常に正確に制御したツール使用活動状況を意識的に熟考し、自らの判断で解決方法を実行する。ツールを使う時に、他者を気遣う。</p>	<p>ツール使用以外のどのような活動をしているかに依る。</p>	<p>マルチレベル（多層的）整理統合された相互交流/作用</p> <p>関わる人、ツール、環境と相互交流/作用できる。</p>	外向的段階—身体、ツール、環境、および作業に焦点を当てる パフォーマンスの探求
7 上達者	<p>多数のことに注意を向ける</p> <p>ツールの使用に集中するのではなく、周囲の環境にまんべんなく注意が向く。</p>	<p>それ自身が目的である作業</p> <p>段階的でタイミングの良い動きとアプローチに洗練される。ツール使用そのものを楽しむためにツール使用活動を行う。物理的および社会的な空間の中で、ツール使用を実行し遂行する。</p>	<p>ツールの流暢で正確な使用</p> <p>良く知っている状況で、ツール使用をコントロールする方法に気付いており、結果が分かっている。習得したスキルやツール使用に関する理解を洗練させ、簡単に流れるようなツール使用に昇華させる。ツール使用状況/環境において、自分のことは自分でできる。</p>	<p>幸福 十分な満足</p>	<p>協力して行う共同的な相互交流/作用</p> <p>同時にいくつかの事柄に関して相互交流/作用できる。1つ以上の事柄について相互交流/作用する準備ができていいる事を態度で示す。もはや、突発的な事象によって容易に相互交流/作用が中断されない。遊び心のある簡単な方法でツールと相互作用する。物理的および社会的空間の中で、意図的に相互交流/作用を工夫する。</p>	
6 基本操作習得者	<p>複数のことに注意が向くが、容易に中断される。</p> <p>目標を達成するためにツールを使用することに集中する。</p>	<p>活動</p> <p>制御されているが、洗練されていない動きとアプローチ。粗さはあるが、臨んだ目標を達成するためにツールを使用できる。自分や他人の目標を達成するためにツール使用に集中するが、しばしば周囲の環境や人に目が向かない。</p>	<p>最低限必要な技能を伴ってツールを使用することができる</p> <p>望む目標に到達するためには、行為をある一定の順番で組み合わせることが必要であることに気がつく。ツールの制御は可能だが、粗い。ツールを本来の用途通りに、ほとんどの場合で使用できる。時折、道具を使う代わりに身体の動きを使うパターンに戻ることもある。</p>	<p>真剣 それなりに満足 笑う 興奮</p>	<p>連続した相互交流/作用</p> <p>ある1つのことに関する相互作用/交流が次々に起こり、相互作用/交流が連続する。ツールとの相互作用は、妨げとなるような出来事により中断せざるを得ない。</p>	

	注意	活動と動き	ツール使用の理解	表情と感情	相互交流/作用とコミュニケーション	ステージ
5 かなり上手になった初級者	2つのことに注意が向く 積極的 集中する	一連の行為の組み合わせ 意図的で、より前向きで力強いまたは激しい動きやアプローチ。 統合された全体としてツールを探索する。 様々なパターンや順番でツール使用活動の連鎖を作ることを試みる。 ツール最適な使用パターンを見つけるために試行を重ねる。 力またはパワーの方向と微調整を制御し始める。 時には、ツールを本来の用途通りに使用することもある。	ツールをどのように使えば良いかが分かり始める 使い方によって、色々な異なった効果や結果を引き起こすことができることに気がつく。 目標指向的なツール使用ができるパターンを探し求める。 機能的な能力や望む目標に合った効果的な方法を見つけるために、パターンを構築し直し、再構成する必要があることに気が付く。 適切にツールを使用する方法に関する概念を理解する。 ツールを意図された方法で使用すると、何が達成できるのかを認識し始める。	夢中 微笑む 真剣 フラストレーション フラストレーションの時期。 上手くツールを使えば望む目標を達成できることは知っているが、ツールを使用して思ったような目標を達成できない。たまに成功することがあっても、上手くいかず停滞する時期。	相互的な相互交流 やり取りしている人に反応を求めるメッセージを伝えるために、視線を向けたり、指差し足り、発声することで注意を引く。 三項関係の相互交流 第3の要素（人物、物体、環境内の何か）を介した、やり取りしている人との相互交流またはコミュニケーション	困難な移行期—身体、ツール、環境に焦点を当てる 行為の組み合わせと順序の探求
4 少し上手になった初心者	基本的には一つのことしか注意が向かないが、自発的に注意を移すことができる。 注意深い	一連の行為 意図的だが、用心深く慎重な動きやアプローチ。 ツールの細部を探索する。 異なった効果や結果を探索する。 ツールをうまく使うために、さまざまな方法を試す。 ツールの操作や適用に合致した身体の部位や能力を使う。 ツールを使い、操作し、適用するために、行為を連続的に組み合わせ始める。 力やパワーの加減をコントロールできるようになる。	ツール使用を広げる方法を探索する 1つ以上の効果があることがわかる。 突然の予期しない新しい効果や結果を警戒する。 ツールの使用や運用によって生じる結果を探索する。 行為の多様な組み合わせ（順序やタイミング）やアプローチが、より多くの効果や変化や結果をもたらすことをより理解するようになる。	真剣 微笑む 時々笑う 自分の体に近い範囲を超えて、より広い環境の中で関係性を探索したいという意欲を示す。 注意を体に近いところと遠いところの間で移す。	双方向の交流 身体に近い物や出来事を指し示すことによって、やり取りしている人がそれに注意を向けることを要求する。	

	注意	活動と動き	ツール使用の理解	表情と感情	相互交流/作用とコミュニケーション	ステージ
3 初心者	一つのこと に注意が向くが、注意を移すこともできる。 周りを気にする	行為 はっきりとした目的物のある動きやアプローチ。効果を繰り返し得るために、ツールを使ったり運用したりする。 力やパワーを加える。 体の一部を使ってツールを押し、ツールを大まかに操作することができる。	基本的なツール使用 1つの行為が1つの効果を引き起こすことに気付く。ツールの基本的な使用を達成するためにどのように行動すべきかについての洞察を確立している。 時には、ツールの基本的な効果や結果を達成するために、ツールを用いずに身体で動かそうとする後退現象が起きる。	真剣満足する微笑む	相互交流を自ら始める アイコンタクトに応える、またはアイコンタクトを続ける。 表情を使って合図を送る。	機能的探索 内向的段階—身体とツールに焦点を当てる
2 興味を示し始めた未経験者	一つのこと に注意が向く。 時々、周囲に気が向く。 受け身。	行為前 まとまりのない漠然とした多方向の動きやアプローチ。 体の異なる部分や能力を使って、ツールのさまざまな部分や特性を探索する。 力またはパワーを加えることを試みる。 行為の間で活動を中断して静止することがある。	ツールをどう使えばよいか、少し分かり始める。 自らが始めたツール使用行為/活動が効果や結果を引き起こすことに気づき始める。	満足する興味がある心配する怒る	相互交流に応じる。 アイコンタクトがある。 スキンシップ（身体接触） 行動の模倣 活動中に関わる人と同じものに焦点を当てる。	
1 未経験者	極端な注意 力散漫 新しいツールや状況に注目せず、相互作用/交流がない。 受け身または不安げ	興奮する ツールを見て能動的にツールを探索することに興味を示す。 行為が見られない はっきりとした意図的な運動がない。 偶然ツールに働きかけたりツールを使うかもしれない、長い間動かない。 防御的に引き込む姿勢。他の人の活動を観察する。 拒絶 ツール使用状況から逃れようとして、常同行動や拒絶的な態度を示す。	ツールをどう使えばよいか、なんとなくわかる、または全く分からない どうしたら自分の行為/活動が効果や結果を引き起こすのかほとんどわからない、または全く分からない。	感情表出がある ツール使用を援助してもらった経験を楽しむ。 感情表出があまりない 表情の変化が少ない。 全身の動きも少ない。 不安 心配、恐怖、いらだち、泣く。	反応なし しかし、周りの状況や周りの人が注目していることに気づいているかもしれない。 自分の体の近くに留まり、自分の中に引きこもる。 回避 関わってくる人からの身体的接触や声掛けを回避する。 相互作用/交流を望まない。 関わってくる人から逃げようとする。	